

月	単元・学習内容	評価規準（到達目標）	観点別評価			評価方法
	年 度 始 休 業		ア	イ	ウ	
4	1 オリエンテーション					
	11	□1年間を通して、美術でどのような力をつけていくか、目標をあきらかにする。			○	プリント
5	2 デッサンの基礎(2)	グラデーションの表現				
	21	□鉛筆の削り方		○		取り組み
	22	□さまざまなタッチを使い表現を工夫することができる。		○		作品
	3 鉛筆デッサン(8)	石膏デッサン(アグリッパ像を描く)				
	31	□構図の決定と形の把握		○		作品
	32	□立体感、動勢、質感の表現	○			作品
	33	□細部の観察と描写		○		作品
	4 アニメーションの手法(2)鑑賞	岸辺のふたり(アニメーション)				
6	41	□アニメーションの技法を理解することができる。	○		○	鑑賞シート
	42	□物語の動きや見せ方の工夫を感じることができる。	○		○	鑑賞シート
	43	□発想や動きの面白さを感じ取ることができる。	○		○	鑑賞シート
	前 期 中 間 考 査					
	5 色彩学の基礎(8)	イメージ構成				
7	51	□色のイメージと効果	○		○	作品
	52	□技法の確認	○			取り組み
	53	□イメージを色で表現する		○	○	作品
8	6 抽象彫刻で表す(8)	卵の形を利用して抽象彫刻をつくる				
	61	□空間、形態を把握して表現することができる				作品
	62	□素材の特性を生かして形を工夫して表現の構想を練ることができる。				取り組み
	63	□意図に応じて用具の特性を生かして表現方法を工夫して追及できる。				作品
	64	□形態、材質感を感じ取り、特徴を捉えて作品に対する見方や感じ方を持ち理解できる。				自己評価
9	7 人物を描く(12)	自画像(自分を見つめて)				
	71	□材料や表現方法を工夫して対象を捉える。	○			
	前 期 期 末 考 査					
	72	□構図、表情、色彩の効果そして全体のイメージを捉える。		○		作品
	73	□対象をしっかり見つめて観察して描くことができる。		○		作品
10	74	□参考作品の鑑賞を通してそれぞれの作品の意図や表現の工夫を理解し味わうことができる			○	取り組み
	8 自分の適性を生かして(14)	絵画・デザイン・彫刻・工芸(選択)				
	81	□自分の適性にあった題材を選択することができる。			○	取り組み
	82	□創造的な美術表現をするために必要な技能をみにつけて、自主的に活動し作品を完成することができる。	○	○	○	作品
11	83	□それぞれの材質、材料を生かして表現することができる。	○	○		作品
	後 期 中 間 考 査					

12	9	視点と表し方(12)	模 写 (セザンヌ)			
1	91		☐ 明暗法、構図、色使い、形の捉え方を学ぶ		○	作品
	92		☐ 技法だけでなく絵を描く作家の心構えを学ぶ			作品
	93		☐ 混色、塗り重ねによる工夫、基本的な色彩の学習を生かすことができる。	○		作品
	10	これからの私と美術(2)	芸術の役割			
	101		☐ 社会と芸術の関わりについて目を向ける			○ 取り組み
	102		☐ 「芸術とは何か」1年間の学びとともに振り返る			○ 取り組み
2	後 期 期 末 考 査					
3						